

令和6年度 宮城県水産高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす
各教科指導目標	国語	○	○	地理歴史	○	○	公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○	○	
	国語を適切に表現し理解する力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。			現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力を育てる。			基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。			科学技術と人間生活との関わりについて理解を深めるとともに、水産・情報教育の基礎となる科学的知識を身に付け、社会生活の中で生かせるようにする。				
	保健体育	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	家庭	○	○	情報	○	○	○	
	学習したことを実生活、実社会に生かしながら、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			生活上の基本である漢字(常用漢字)・平仮名・片仮名等について、場面に即して正しく且つ体裁良く表現出来るようにする。			外国語や異文化体験を通じて、海洋・情報のスペシャリストに必要なコミュニケーション能力の育成と国際感覚を養う。			人間の一生と家族、福祉、衣食住、消費生活などに関する基本的な知識と技術を習得し、男女が協力し家庭生活の向上を図る能力と実践力を育てる。			社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、水産・工業の分野において情報および情報手段を主体的に活用する能力を育てる。				
水産	○	○															
水産や海洋に関する基礎的な知識と技術を習得させ、水産・海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。																	
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標								
指導内容	① 朝食の摂取	◎			1年	○ 基本的な生活習慣を確立するため、授業開始時刻の遵守、挨拶を徹底する。 ○ 持ち物管理を指導し、常に整理・整頓された学習環境を維持する。 ○ 自己の義務と責任の意識を育み、宮水生であることに誇りと自覚を持ち、高校生活を送れるようにする。											
	② 時を守り、場を清め、礼を正す	○	○	○													
	③ あいさつ、身だしなみの向上			◎	2年	○ 毎日の授業に集中して取り組むため、基本的な生活習慣を確立する。 ○ 朝学習、朝読書の徹底を図り、自己の進路を見据えた基礎学力の定着を図る。 ○ 身なりを整え、人に不快感を与えないコミュニケーション能力を育む。											
	④ 朝読書・朝学習の定着		○	◎													
	⑤ 資格取得に挑戦	○	○	◎	3年	○ 進むべき路、方向性をしっかり定め、進路の早期決定を目指す。 ○ 震災の経験をプラスに震災復興の中心になれる人材を育てる。 ○ 最高学年としての自覚を持ち、日常生活・学業・部活動などを通し学校全体の発展に貢献する。											
	⑥ 部活動の活性化	○	○	◎													
指導内容		ねらい				指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	基礎力診断テスト・振り返り	診断結果から、将来を見据えた学習計画を作成させることで、計画性や分析力を培う。				国・数・英・LHR	4月6月8月 10月1月3月	15	○	◎	○						
	生活状況・進路希望調査	高校生活を考える上で、学習習慣・生活状況を振り返り、卒業後の進路を考えさせる。				LHR	6月9月 12月	3	○	○							
	水産海洋基礎実習振り返り	地域理解や水産業を題材として産業理解を行い、2年次以降の進路選択について考えさせる。				教科内実習	5～9月	20	◎	◎	◎						
	キャリアセミナー	職業について理解を深め、主体的な進路選択能力を養う。				LHR	9月、11月	5		○	○						
	職業適性検査・振り返り	自己を理解し、様々な職業の情報を集め、自らの生き方を探求する。				LHR	12、1月	2	○	◎							
2年	基礎力診断テスト・振り返り	診断結果から、将来を見据えた学習計画を作成させることで、計画性や分析力を培う。				国・数・英・LHR	4月6月8月 10月1月3月	15	○	◎	○						
	生活状況・進路希望調査	高校生活を考える上で、学習習慣・生活状況を振り返り、卒業後の進路を考えさせる。				LHR	6月9月 12月	3	○	○							
	インターンシップ	職場体験学習を通して、コミュニケーション能力や勤労観及び職業観を育成する。				教科内実習	9月	18	○	◎	○						
	進路分野別セミナー	様々な業種・業界のお話を伺うことで、職業観を深め、進路意識を高める。				LHR	12月	3	○		◎						
	進路ガイダンス	3学年担任の話から次年度の自分の姿を想像し、計画的な進路活動を促す。				LHR・学校行事	3月	6	○	○	○						
3年	基礎力診断テスト・振り返り	診断結果から、将来を見据えた学習計画を作成させることで、計画性や分析力を培う。				国・数・英・LHR	4月6月 7月8月	10	○	◎	○						
	SPI模試・振り返り	それぞれの進路に応じた課題に取り組み、進路目標達成の実力を養成する。				LHR	4月、6月	2	○	○	◎						
	進路分野別セミナー	希望業種の企業のお話を伺い、自分の進路について考えを深め、進路目標設定を明確にする。				学年行事	7月	2	○	◎							
	進路達成セミナー	エクササイズやロールプレイをととして、対人関係力等、社会的能力を養う。				学年行事	8月	4	○	◎	○						
	面接指導週間	外部面接官による面接指導週間で、正に志教育の集大成の位置付けとする。				LHR・学校行事	9月	4	◎	◎	◎						
						合計時数	112										